

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol.61

聖パトリックデー



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」！
案内役は、国際交流員のローラ・スタンリーさんとカレン・イトンさんです。

Hello!カレンです。今回は「聖パトリックデー」についてお話ししたいと思います。アイルランド人、アイルランド系の国民、一日だけアイルランド人になることを楽しみたい人たちが集まり、「聖パトリック」を盛大に祝う行事が世界中で行われています。

【聖パトリックデーのパレード】

最近三つの盛大なパレードがアイルランドのダブリン市、アメリカのニューヨーク市そしてイギリスのバーミンガム市で行われました。アイルランドのほとんどの町や村でも、世界中の多くの国と同様にパレードが行われています。

ダブリンで毎年行われる5日間の盛大なフェスティバルには、50万人から100万人が参加します。ダブリンのフェスティバルは伝統的なパレードとともに、野外音楽会、盛大な花火大会、野外劇、ファミリーカーニバルのようなアトラクションやイベントで盛りだくさんです。

現在見られる聖パトリックデーの巨大パレードの始まりは、実はアイルランドではなく、ニューヨークで1762年に行われました。現在ニューヨークでは世界最大の聖パトリックデーのパレードが行われています。しかしそのパレードは普通想像されるものと違い、山車の代わりに15万人の行進者で構成されています。

シカゴでは聖パトリックデーのシンボルである緑色にちなみ、毎年シカゴ川を緑色に染めています。今日も続いているこの習慣は1962年から始まったそうです。東京の原宿表参道でもパレードが開催されています。アイリッシュ・



ニューヨークでの盛大なパレード

い情報は、HPをご覧ください。

(<http://www.inj.or.jp/stpatrick.htm>)



ダブリンでのパレード

ネットワーク・ジャパンにより1992年から始まり、緑色の衣服を身につけた約1,000人がパレードに参加しています。今年の3月15日に行なわれるパレードの詳細

【伝統と習慣】

聖パトリックデーで共通している伝統は、緑色の服を着て、聖パトリックのシンボルのシャムロック(マメ科のクローバー)を身につけたりフェイスペインティングをしたりすることです。そしてアイルランドのフォークミュージックを聞きながら、緑に染められたギネスなどのアイルランドのビールをいっぱい飲んで楽しむのです。聖パトリックデーにはコンビーフ・アンド・キャベツという伝統的なアイルランド料理を楽しむ人が多いです。



シャムロックを身につけた参加者

【デーの歴史】

聖パトリックは4世紀の終わり頃、イギリス西部ウエールズの裕福な家庭に生まれました。16才の若さで奴隷としてアイルランドに連れ去られ、その後6年間、監禁状態で羊飼いとして働きながら寂しい生活を送りました。その暗い時期の唯一の慰めは神でした。それから彼は敬虔なキリスト教徒になったのです。

6年後聖パトリックは、神のお告げに従い牧場を脱走しイギリスに戻りました。そして再びイギリスで「キリスト教を布教するためにアイルランドに戻りなさい」という神からのお告げを聞きました。14年間神学を学んだ後、彼はまたアイルランドに戻り教会を建て、そこで亡くなる日の460年3月17日までの30年間ずっと、キリスト教の信仰を平和的に広めたのです。

▽聖パトリック

聖パトリックデーを祝うもともとの理由は、現在のアイルランドに強い影響を与えた聖パトリックを忘れずに感謝するためです。そして聖パトリックと同じように世界中にいる宣教師のために祈りを捧げ、自分の精神的な新しい物を見つけた日なのです。聖パトリックは普通の人でしたが、アイルランドで偉業を成し遂げたので、1500年以上経った今でも世界中の人々に覚えられています。

